

おおむた自慢

大牟田舞台の映画、製作される

動物園での人の成長と命を描く



＜オーディションに1,000人を超える応募＞

当初のタイトル「僕のケモノート」（仮題）で出発した大牟田を舞台とする地方創生映画には、地域キャストオーディションに1,000人を超える応募がありました。昨年10月に公開された東広島市を舞台にした映画「恋のしずく」のオーディションでは900人台だったので、大牟田は過去最多の申し込みだったそうです。オーディション参加者の年齢は0歳から99歳までと幅広く、なかにはプロの俳優も応募していたそうです。

＜正式メインタイトル決定＞

平成30年12月25日、それまでタイトル「僕のケモノート」（仮題）であったものが、正式メインタイトル「いのちスケッチ」と発表されました。

瀬木直貴監督によると「『ち』と『チ』で韻を踏み、7文字で心地よい軽やかなリズムが特徴で大牟田の過去の暗いイメージを払拭する映画で、明るいイメージのタイトルが受け入れられやすい。」とのこと。

＜大牟田舞台の映画と地元応援＞

大牟田が舞台の映画「いのちスケッチ」を資金面で応援するプロジェクトもスタートしました。



実行委には観光協会やJ A南筑後、文化連盟、小中PTA連合会、校区まちづくり協議会など市内21団体が参加し、製作費や広告宣伝費として地元企業からの協賛金のほか、各個人からも応援いただいています。

＜「いのちスケッチ」製作発表＞

2月25日、福岡県南に新しい風を吹かせるため、大牟田市動物園をモチーフにした映画「いのちスケッチ」の製作発表とメインキャストの発表が行われました。メインキャストの中に大牟田出身の林田麻里さんも飼育係役に選ばれました。



＜「いのちスケッチ」撮影順調＞

2月28日クランクインした映画「いのちスケッチ」のロケは順調に進み、3月9日には報道陣に公開されました。

また、大牟田を舞台にした地方創生ムービー「いのちスケッチ」の撮影を支援しようと地元の皆さんが、ロケ地等で炊き出しをして撮影を応援しました。



＜「いのちスケッチ」撮影終了・今秋、公開予定＞

大牟田市動物園を舞台にした映画「いのちスケッチ」演技部分の撮影が、3月16日クランクアップし、地域キャストたちが動物園入口前で行き交うシーンが撮影されました。終了後には花束の贈呈が行われ撮影の労をねぎらい、完成への期待を込めました。

公開は今秋の予定です。

編集後記

平成から令和になって初めての市議会だよりとなりました。市議会も新しい体制となり、大牟田市も市制100周年を超えて、新しい100年への新たな歩みを開始しています。今後も議会が真に市民の代表として機能するためにイチロー選手のように「後悔などあるはずがありません」と言える努力をしています。

(T)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】古庄和秀

【委員】光田茂 森竜子 今村智津子 大野哲也 塚本二作

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 精巧印刷株式会社